

2018 アイテック オープンセミナー 実践力強化ゼミ

ビジネスの価値を生み出す“攻めのIT”



人間力を、企業力に

目次

IT市場で求められる“IT技術者”になる	・・・	1
実践力強化ゼミとは	・・・	2
講座一覧	・・・	3
開催場所詳細	・・・	7
IT超上流講座	・・・	11
プロジェクトマネジメント講座	・・・	15
ITサービスマネジメント講座	・・・	20
ITイノベーション講座	・・・	21
ITビジネス力講座	・・・	23
講師紹介	・・・	25
お申込み／お問合せ	・・・	29
会社概要	・・・	30
アイテック公式SNS	・・・	31

IT市場で求められる“IT技術者”になる

IT企業に“今”求められていること

IT企業では……

- 多様化する顧客ニーズに対し、スピード感をもって、**付加価値の高い提案と対応**を行う
- 従来型の受託開発に加え、**強みを活かした事業へのシフトと拡大**

ITユーザ企業では……

- ITを単に「使う」だけでなく、**事業に「活かす」武器**として利用する
- 自社の商品・サービスに対して、**新たな価値を生み出し、顧客満足を高める**

IT市場で求められる“IT技術者”

顧客ビジネスを発展させる
イノベティブな提案

「使う」人材から「**活かす**」人材

プロジェクトの確実な遂行
優良サービスの開発と継続

「作る」人材から「**創る**」人材



顧客の期待に応え、プロジェクトを成功させる対応力

実践力のあるIT技術者

が求められています。

実践力強化ゼミとは

PMPやBA、ITIL、SMなどの資格を取った方から、

「資格対策をしっかりと行って資格を取得したのに、実務での活かし方が分からない」
「学習したとおりに業務で行ったが、結果が思うように出ない」

などのお声をよく伺います。

そこで、アイテックでは

“既に知識をお持ちの方が、どうすれば実務で使えるのか”をとことん考え、
“**実務で活かせる実践力を身に付ける**”に特化した講座を作りました。
アイテックの実践力強化ゼミの講師陣は経験豊富な実務経験者なので、
受講生にとって**本当に必要なノウハウだけ**を厳選してご説明いたします。



実践力強化ゼミとは

実践力強化ゼミの特徴



ほとんどの講座が1日完結型なので、限られた時間の中で集中して学習をすることで知識の定着をはかります。
さらに、自分のいる環境を変えることでその効果をより高めることもできます。



受講生全員に講師のフォローが行届くように、あえて少人数制で実施しています。また、一人一人のレベルに応じて丁寧な対応を行いますので、スキルや力をより身につけやすい講座となっています。



大手企業での実務経験や、研修講師経験、著者としても活躍されている有名な講師による特別カリキュラムをご用意しました。
受講後、直ぐに現場で活用できるスキルを提供します。

受講生の声

ワークショップも講義も両方楽しく学べました。ありがとうございました。
(演習で身に付ける非機能要件定義実践 受講者)

今まで感覚でとらえていたリスクに対して、自分自身の認識や理解の度合いを確認する事が出来ました。
(失敗しないステークホルダーマネジメント実践 受講者)

ワークショップのおかげで理解が深まりました。木村さんの事例を紐付けて説明して下さったのでイメージが湧き易く、理解が深まりやすい講義でした。
(ITサービスマネジメント実践(移行/運用) 受講者)

こんな悩みを持つ方にオススメ

- ビジネスを成功させたい方
- お客様の要求・要件を明らかにするスキルを身に着けたい方
- プロジェクトを円滑に進めるマネジメントスキルを身に着けたい方
- 資格取得の次のステップに進みたい方
- 試験対策でない実践スキルを身に着けたい方



講座一覧

■ 開催時間 9:30~18:30

■ 開催場所 アイテック会議室

ご自身の求めるスキルに合わせて講座をお選び下さい。

 …顧客ニーズを引き出すスキルを高めたい

 …マネジメントスキルを身に付けたい

 …事例から実務に活かしたい

IT超上流

顧客の課題を解決するビジネスアナリシス実践 ～ 顧客の戦略的確にとらえ、真の改革を実現する ～

8 PDU

1 テクニカル
1 リーダーシップ
6 ストラテジック

日程(1日)	2018年 6月 29日(金) 2019年 1月 11日(金)	担当講師	池田 修一	受講費用	45,000円(税別)
--------	------------------------------------	------	-------	------	-------------

目的

- ・発注側が戦略からプロジェクト化までにどのような活動をするのかを理解することができる
- ・ビジネスを理解することにより、より価値の高い要求をまとめることができるようになる

SEのための提案力強化実践 ～ 技術力だけでなく訴求力のある提案で差をつける ～

8 PDU

4 テクニカル
1 リーダーシップ
3 ストラテジック

日程(1日)	2018年 7月 6日(金) 2019年 1月 25日(金)	担当講師	池田 修一	受講費用	45,000円(税別)
--------	-----------------------------------	------	-------	------	-------------

目的

- ・提案行動の重要なポイントが理解できる
- ・提案書作成のステップを理解できるようになる
- ・提案目的に沿った提案書のストーリーを組み立てることができるようになる

演習で身に付ける非機能要件定義実践 ～ 機能要件だけ注力しても満足されないシステムを解消 ～

8 PDU

8 テクニカル

日程(1日)	2018年 7月 13日(金) 2018年 11月 2日(金)	担当講師	山下 真吾	受講費用	45,000円(税別)
--------	------------------------------------	------	-------	------	-------------

目的

- ・ワークショップを通して理解を深め、要件定義フェーズで非機能要件を抽出・分析できるようになる
- ・非機能要件として抽出すべき項目(品質要求、品質以外の要求)を説明できる能力を習得する
- ・非機能要求グレードを活用した、システム基盤に関する非機能要件の分析・仕様化方法を理解し、実務に適用できる能力を習得する

顧客ニーズを引き出す要求定義(BA)実践 ～ 顧客が満足せず、利用しないシステムを解消する ～

8 PDU

8 テクニカル

日程(1日)	お問合せ下さい	担当講師	近藤 美貴子	受講費用	45,000円(税別)
--------	---------	------	--------	------	-------------

目的

- ・ビジネスアナリシスを導入する際に必要となる、プロセスと活動を理解する
- ・ビジネスアナリシスの活動を体験することで、ビジネスアナリシスのスキルを実際の業務で活用できるようにする
- ・学習が必要な分野を把握し、計画的にスキルを身に付けられるようにする
- ・ワークショップを通して理解を深め、顧客の立場に立ち、真の顧客ニーズを引き出す力を養う

プロジェクトマネジメント

失敗しない要件定義実践

～ プロジェクト成功の要、要件定義を速習 ～

8 PDU

8 テクニカル

顧客 実務

日程（1日）	2018年 7月 27日（金） 2018年10月26日（金）	担当講師	庄司 敏浩	受講費用	45,000円（税別）
--------	-----------------------------------	------	-------	------	-------------

目的

- ・要件定義を行うために必要となる要求の引き出しに関するスキルを習得する
- ・要件定義が正しくできているか確認するために必要な要求の検証と、妥当性を確認する力を習得する
- ・要件定義の基本から現場ですぐ役立つノウハウまで、詳しく理解する
- ・要件定義のステップを整理し、実務で適用できるレベルで理解する
- ・豊富なプロジェクトマネジメント経験を持つ講師の貴重なノウハウを短時間で身に付ける

失敗しないリスクマネジメント実践

～ 経験や感覚に頼らないリスクヘッジの方法を伝授～

8 PDU

8 テクニカル

マネ 実務

日程（1日）	2018年 8月24日（金） 2018年11月16日（金）	担当講師	庄司 敏浩	受講費用	45,000円（税別）
--------	----------------------------------	------	-------	------	-------------

目的

- ・ITプロジェクトにおけるリスクマネジメントのポイントを習得する
- ・リスクについて理解し、リスクを特定できるようにする
- ・リスクの徴候を把握し、早期の対処ができるようにする
- ・リスクを意識して、プロジェクトを成功させるために必要な行動が取れるようにする
- ・リスクマネジメントに関するノウハウを身に付ける

失敗しないステークホルダーマネジメント実践

～ステークホルダーとの関係性がプロジェクトの成功を大きく左右する～

8 PDU

8 リーダーシップ

マネ 実務

日程（1日）	2018年 9月 28日（金） 2018年12月21日（金）	担当講師	庄司 敏浩	受講費用	45,000円（税別）
--------	-----------------------------------	------	-------	------	-------------

目的

- ・リスクを意識したステークホルダーマネジメントを活用出来るようになる
- ・顧客との関係を強化できるポイントを習得する
- ・ステークホルダーマネジメントに関する貴重なノウハウを短期間で身に付ける

SEのためのチームマネジメント実践

～ チームの活性化と環境の変化に対応できるチーム力 ～

8 PDU

8 テクニカル

マネ 実務

日程（1日）	2018年 8月 3日（金） 2018年12月 7日（金）	担当講師	加藤 大介	受講費用	45,000円（税別）
--------	----------------------------------	------	-------	------	-------------

目的

- ・多くの演習に取り組み、単なる知識の修得ではなく、自分で考えた結果や他者から気づきを得る
- ・チームメンバの育成(OJT)や動機づけの具体的な手法や考え方を理解し実践することによる、メンバの育成と職場の活性化
- ・仕事の管理スキル（業務運営スキル）の向上による生産性向上

事例で身に付けるプロジェクトマネジメント実践

～ リアルな事例で現場が活かせる実践力をUP～

16 PDU

16 テクニカル

マネ 実務

日程（2日）	お問合せ下さい	担当講師	近藤 美貴子	受講費用	90,000円（税別）
--------	---------	------	--------	------	-------------

目的

- ・プロジェクトマネージャとしての問題解決力と推進力を高める
- ・先を見越したリスク管理が出来るようになる
- ・プロジェクトマネジメント力を更に高め、困難なプロジェクトの成功率を上げる
- ・講義と豊富な演習を行うことで、現場で役立つプロジェクトマネジメント力を養う

講座一覧

ご自身の求めるスキルに合わせて講座をお選び下さい。

 …顧客ニーズを引き出すスキルを高めたい

 …マネジメントスキルを身に付けたい

 …事例から実務に活かしたい

ITサービスマネジメント

ITサービスマネジメント実践（移行/運用） ～ ITILを実践で活かす ～				16PDU	16 テクニカル	 
日程（2日）	2018年 9月 6日（木）～ 7日（金） 2019年 2月 14日（木）～15日（金）	担当講師	木村 祐	受講費用	90,000円（税別）	
目的	・ サービス運用業務の中核をなす運用サポートおよび分析を学ぶ ・ サービス運用の品質および、効果・効率に大きな影響を与える「変更管理」「リリースおよび展開管理」「サービス資産および構成管理」の実践的な知識体系を理解し、実務に活用する ・ 運用に役立つサービスオペレーション、サービストランジションの主要プロセスの知識を習得する ・ グループワークで、実務に活かせる実践力習得を目指す					

ITイノベーション

SEのための人工知能活用 ～ 深層学習とクラウド型AIを体験する ～				8 PDU	8 テクニカル	
日程（1日）	2018年 7月20日（金） 2019年 1月18日（金）	担当講師	小島 琢矢	受講費用	45,000円（税別）	
目的	- 実際に人工知能を利用するプログラムを作成し、人工知能を利用したシステム構築に対する具体的なイメージを持つ - 様々な人工知能の活用例を学び、顧客に人工知能活用を提案するイメージを持つ					

IoTを活用した新規事業の創出 ～ モノを繋げることで生まれる価値を考える ～				8 PDU	3 テクニカル 5 ストラテジック	
日程（1日）	2018年 9月21日（金） 2018年11月30日（金）	担当講師	吉原 幸伸	受講費用	45,000円（税別）	
目的	- IoTを用いたサービスを組み立てるときに、 どのようなことができるのか、どのような考え方で組み立てていけば良いのかを理解する - IoTを取り巻く技術的制約、法的制約の最新情報を理解する					

ITビジネスカ

SEのためのロジカルライティング実践

～「正確に・わかりやすく・早く」伝えるための文書作成スキル向上のために～

8 PDU

8 テクニカル



日程（1日）	2018年 9月 14日（金） 2019年 2月 8日（金）	担当講師	加藤 大介	受講費用	45,000円（税別）
目的	- 文書作成への苦手意識や抵抗を払拭し、「自分にも文書作成ができる」という意識を持つ - 読み手が求めている事を常に意識できるようになり、早く簡潔にまとめられるようになる - 読み手に確実に意図が伝わる文書を作成できるようになる - 論理思考にも踏み込むことで、口頭での説明を行う際にも役に立つスキルを身につける				

失敗しないアウトソーシング管理

～ 丸投げ&ブラックボックスが招く問題からの脱却方法 ～

8 PDU

8 テクニカル

日程（1日）	お問合せ下さい	担当講師	沢渡 あまね	受講費用	45,000円（税別）
目的	- アウトソーシング選定時の肝となるサービスレベルアグリメント（SLA）に盛り込むべき項目を学ぶ - アウトソーシング先による情報漏えい、セキュリティインシデント、品質問題など委託元のブランド棄損につながる事故を防ぐための運用管理について、8つのポイントを学ぶ - 日々の運用コストや業務品質を、適切に管理するための観点と管理方法を学ぶ				

開催場所詳細

株式会社アイテック 教育事業本部

〒108-0074 東京都港区高輪2-18-10 高輪泉岳寺駅前ビル4階

＜アクセス＞

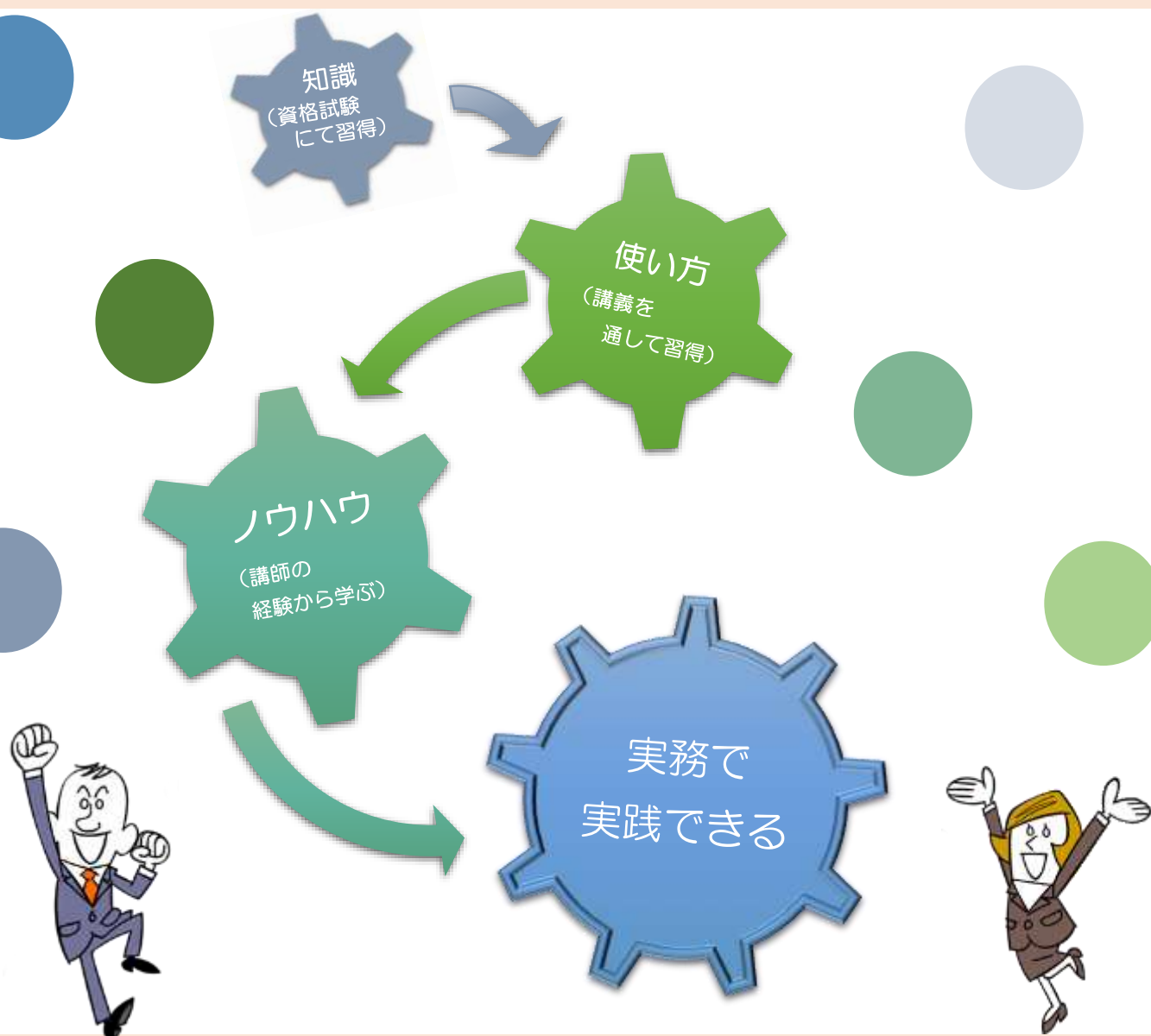
都営浅草線「泉岳寺駅」（三田寄り）A3出口から徒歩1分



● ● ● お申し込みの際の注意事項

1. “アイテックIT技術者実践力強化ゼミ オープン研修”は、従来“アイテック高付加価値IT人材研修”としてご提供・実施してきたものです。
研修名を若干変更している研修もございますので、過去の研修と内容が重複することがございます。
2. 受講票はございません。お申し込みの際に受講受付のメールを送付いたします。
(会場にて、出席確認をさせていただいております。)
3. 欠席された際、配布資料がある場合で、お渡しする必要のあるものについては、ご登録のメールアドレス宛に送付させていただくことがございます。郵送は致しませんのであらかじめご了承ください。
4. 学習項目および担当講師は都合により変更となる場合がございます。
5. お客様のご都合でセミナーを欠席された場合は、受講料の払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
6. PDUの証明書類は、各講座後にご記入いただく、アンケートとの交換になります。
7. 途中参加や半日参加など、指定の時間数のご受講がない場合、指定のPDUは原則発行できかねますのであらかじめご了承ください。

カリキュラムのご紹介



顧客の課題を解決する ビジネスアナリシス実践

～顧客の戦略を的確にとらえ、真の改革を実現する～

研修の概要

どの企業においても様々なプロジェクトが立ち上がりますが、いくつかのプロジェクトでは、多くの問題が発生し、QCDに大きな影響を及ぼすことがあります。その問題のほとんどは、企画や要件定義などの上流工程に関するものが多く、受注側の企業では対応できないことがあります。本コースでは、発注側であるお客様の立場となり、戦略から変革案を策定し、改革プロジェクトを立ち上げるまでを経緯を学んで頂き、お客様の真のニーズを捉えていきます。これにより、今までよりも高い価値をお客様に提供することができます。

研修の目的

- ・発注側が戦略からプロジェクト化までどのような活動をするかを理解することができるようになる
- ・ビジネスを理解することにより、より価値の高い要求をまとめることができるようになる

こんな悩みを持つ方にオススメ!!

-  プロジェクトに少しでも関わったことある方で、上流工程に問題を抱えている
-  これから企画や要件定義などの上流工程を学びたい

カリキュラム

(講義)

1. 企業における改革とは
2. 戦略を理解する
3. 改革プロジェクトを立ち上げる
4. 改革構想の策定①
改革のための課題の引出し
5. 改革構想の策定②
課題の分析とソリューション案の策定
6. 改革構想の策定③
企画書の策定と投資対効果
7. 改善案を評価する

(演習例)

- ・戦略を考えてみよう
- ・ステークホルダーからの課題の引出し
- ・課題をまとめてみる
- ・企画書を策定してみる

対象者

- プロジェクトマネジメント経験者
- これから上流工程を学ぶ方
- ビジネスアナリストを目指す方

日程(1日)	① 2018年 6月 29日(金) / ② 2019年 1月 11日(金)		
受講費用	45,000円(税別)	担当講師	池田 修一
時間	9時30分 ~ 18時30分	取得PDU	8PDU 1PDUテクニカル 1PDUリーダーシップ 6PDUストラテジック
場所	アイテック会議室	定員	16名

SEのための提案力強化実践

～技術力だけでなく訴求力のある提案で差をつける～

研修の概要

SEはシステムを構築することが主な業務となりますが、システム構築プロジェクトの最初のステップは提案となります。営業ではなく、技術力をもったSEが品質の高い提案をすることによって、受注後の問題を未然に防ぐことができ、またお客様の真のニーズを把握し、より高い価値を提供することができます。

本コースでは、提案に関する必要なデータや情報を収集・分析し、訴求力のある提案書の作成の要点と提案実施のためのスキルを理解するとともに、お客様にソリューションを提案する際の方法を修得します。

研修の目的

- ・提案行動の重要なポイントが理解できるようになる
- ・提案書作成のステップが理解できるようになる
- ・提案目的に沿った提案書のストーリーを組み立てることができるようになる

こんな悩みを持つ方にオススメ!!

 より価値の高い提案書を作成したい

 提案書作成・プレゼンテーションのポイントやノウハウを修得したい

カリキュラム

（講義）

1. 提案のための基礎知識とスキル
2. 提案事例から学ぶ提案書作りのノウハウ
3. 提案書作成のための基礎知識
4. 提案書作成プロセスの理解
5. 提案を実施するためのノウハウ
6. 全体のまとめ

（演習例）

- ・提案書を評価する
- ・デシジョンテーブルの作成
- ・提案書のフレームワーク作り
- ・各自の提案を考えてみる

対象者

- 入社5年目～10年目の方
- これから提案書を作成するシステムエンジニアの方

日程（1日）	① 2018年 7月 6日（金） / ② 2019年 1月 25日（金）		
受講費用	45,000円（税別）	担当講師	池田 修一
時間	9時30分 ～ 18時30分	取得PDU	8PDU 4PDUテクニカル 1PDUリーダーシップ 3PDUストラテジック
場所	アイテック会議室	定員	16名

演習で身に付ける非機能要件定義実践

～機能要件だけ注力しても満足されないシステムを解消～

研修の概要

本セミナーでは、非機能要件を分析し、顧客に対して説明できる応用力を学びます。講義で基礎理論を学んだ後に、「非機能要求グレード」を用いた実践的なワークショップを行います。顧客であるユーザと開発者との間に共通したシステムのイメージが持てず、「何を提案して良いか分からない」と思っている方にオススメのセミナーです。

本講座で学ぶ非機能要求グレードは、ユーザの視点で非機能要求を抽出し、評価観点を決めることが出来るツールです。要求項目を可視化できるので、ユーザと開発者との認識を、誤解無く、漏らさず、早めに合わせることが出来ます。システム運用後に発生しがちな、性能や品質に関するトラブル。非機能要件できちんと数値化することができれば、システム開発後の手戻りが減少します。

研修の目的

- ・ワークショップを通して理解を深め、要件定義フェーズで非機能要件を抽出・分析できるようになる
- ・非機能要件として抽出すべき項目(品質要求、品質以外の要求)を説明できる能力を習得する
- ・非機能要求グレードを活用した、システム基盤に関する非機能要件の分析・仕様化方法を理解し、実務に適用できる能力を習得する

こんな悩みを持つ方にオススメ!!

-  要件定義は理解しているが、非機能要件定義はよく分からない
-  プロジェクトの中で、性能やセキュリティの扱い方が不明
-  講義だけではなく、実践的に非機能要件定義を学びたい

カリキュラム

(講義)

1. 非機能要件
2. 基礎理論
3. 非機能要求の分析と仕様化
4. ケーススタディ

(演習例)

- ・要件を分析し、「非機能要求グレード」を用いて非機能要件を定義する

対象者

- 上流工程を担当するシステムエンジニア、またはビジネスアナリストをめざす方

日程(1日)	① 2018年 7月 13日 (金) / ② 2018年 11月 2日 (金)		
受講費用	45,000円(税別)	担当講師	山下 真吾
時間	9時30分 ~ 18時30分	取得PDU	8PDU(テクニカル)
場所	アイテック会議室	定員	16名

顧客ニーズを引き出す要件定義(BA)実践

～顧客が満足せず、利用しないシステムを解消する～

研修の概要

本セミナーでは、グループワークにより顧客ニーズの引き出し方をシミュレーションすることで、実務で使えるコツを体感して習得できます。
講師が実際に経験した成功と失敗を交えながらセミナーが進む為、顧客が本当に求めている真のニーズが何かという視点を身に付けられます。要求定義・ビジネスアナリシスにとって必要なエッセンスを1日で習得したい方にオススメのセミナーです。

研修の目的

- ・ビジネスアナリシスを導入する際に必要となる、プロセスと活動を理解する
- ・ワークショップを通し、ビジネスアナリシスの活動を体験することで、ビジネスアナリシスのスキルを実際の業務で活用できるようにする
- ・今後学習が必要な分野を把握し、計画的にスキルを身に付けられるようにする
- ・ワークショップを通して理解を深め、顧客の立場に立ち、真の顧客ニーズを引き出す力を養う

こんな悩みを持つ方にオススメ!!

- ☹ システムリリース後、顧客満足度が高くない
- ☹ システム仕様変更要求が多く、いつも納期が遅れ、工数超過が発生する
- ☹ ソリューション提案を求められるが、具体的には何をすれば良いのか分からない

カリキュラム

(講義)

1. ビジネスアナリシスとは
2. ビジネスアナリシスの計画
3. 顧客の要求を引き出す
4. 基礎コンピテンシ
5. 要求からソリューションへ

(演習例)

- ・ステークホルダー分析
- ・コミュニケーションスキルを活用した顧客ニーズの引き出し
- ・ビジネスアナリシスの今後の活用検討

対象者

- これから BA の活動を行うすべての方 (IT戦略立案、業務分析、サービス・システム企画、コンサルテーション、ソリューション、営業、運用保守、マネージャーなど)
- ビジネスアナリストの育成を行う担当者や上司

日程 (1日)	お問合せください		
受講費用	45,000円 (税別)	担当講師	近藤 美貴子
時間	9時30分 ～ 18時30分	取得PDU	8PDU (テクニカル)
場所	アイテック会議室	定員	16名

失敗しない要件定義実践

～ プロジェクト成功の要、要件定義を速習 ～

研修の概要

国内のソフトウェア開発プロジェクトの成功率は約30%と言われています。プロジェクトを成功させるために重要となるのが要件定義。本セミナーでは、顧客から要求を引き出す方法などを、講義と実践的なワークショップで学びます。上流工程を成功させたいソフトウェア開発者にオススメのセミナーです。

研修の目的

- ・要件定義を行うために必要となる要求の引き出しに関するスキルを習得する
- ・要件定義が正しくできているか確認するために必要な要求の検証と、妥当性を確認する力を習得する
- ・要件定義の基本から現場ですぐ役立つノウハウまで、詳しく理解する
- ・要件定義のステップを整理し、実務で適用できるレベルで理解する
- ・豊富なプロジェクトマネジメント経験を持つ講師の貴重なノウハウを短時間で身に付ける

こんな悩みを持つ方にオススメ!!

- ☹️ 顧客の要件を引き出すのにいつも苦労している
- ☹️ 顧客の要件をまとめるのにすごく時間がかかってしまう
- ☹️ 顧客もベンダも、要件定義について何をどこまで実施したらよいのかが曖昧なまま

カリキュラム

（講義）

1. 要件定義の位置付けとポイント
2. 要求の引き出しと体系化
3. 要求の検証と妥当性確認
4. 要件定義書作成のポイント

（演習例）

- ・要求の引き出しと体系化
- ・要求の検証
- ・要求の妥当性確認

対象者

- 上流工程の実務に携わる方、プロジェクトマネージャー、プロジェクトリーダー
- 上記を目指す方

日程（1日）	① 2018年 7月 27日（金） / ② 2018年 10月 26日（金）		
受講費用	45,000円（税別）	担当講師	庄司 敏浩
時間	9時30分 ～ 18時30分	取得PDU	8PDU（テクニカル）
場所	アイテック会議室	定員	16名

失敗しないリスクマネジメント実践

～ 経験や感覚に頼らないリスクヘッジの方法を伝授 ～

研修の概要

多くのメンバーが関わるITプロジェクトでは、様々なリスクが潜んでいます。システムの仕様、顧客との調整、メンバー間のコミュニケーション。経験や感覚に頼りがちなマネジメントでは、目先の仕事に集中している間に、違う場所で問題が発生しています。

本セミナーでは、リスクが発生する兆候に着目し、リスクを顕在化させないための予防的措置を学びます。リスクの特定と対策について、実践的なワークショップを行うことで、リスクのコントロールが出来るリーダーを目指します。

研修の目的

- ・ITプロジェクトにおけるリスクマネジメントのポイントを習得する
- ・リスクについて理解し、リスクを特定できるようにする
- ・リスクの兆候を把握し、早期の対処ができるようにする
- ・リスクを意識して、プロジェクトを成功させるために必要な行動が取れるようにする
- ・ITプロジェクトマネジメントの経験をもとに、リスクマネジメントに関するノウハウを身に付ける

こんな悩みを持つ方にオススメ!!

- ☹️ リスクマネジメントについてきちんと学んだことがなく、対応が不安
- ☹️ いつもリスクが起きてから対応に追われている
- ☹️ 一方的な講義ではなく、現場で役立つリスクマネジメントを学びたい

カリキュラム

（講義）

1. リスクとリスクマネジメント
2. リスクの特定
3. リスク分析
4. リスク対応策
5. リスクコントロール

（演習例）

- ・リスクの特定
- ・発生確率と影響度分析
- ・リスク対応策の策定
- ・リスクの兆候の発見

対象者

- プロジェクトマネージャー、チームリーダー

日程（1日）	① 2018年 8月 24日（金） / ② 2018年 11月 16日（金）		
受講費用	45,000円（税別）	担当講師	庄司 敏浩
時間	9時30分 ～ 18時30分	取得PDU	8PDU（テクニカル）
場所	アイテック会議室	定員	16名

失敗しない ステークホルダーマネジメント実践

～ステークホルダーとの関係性がプロジェクトの成功を大きく左右する～

研修の概要

本セミナーでは、システム開発側とユーザ側、両方の立場でプロジェクトマネジメントを実践してきた講師の経験をバックボーンに、実務で活用できるステークホルダーマネジメントを1日で習得します。顧客からの無茶ぶりや部門同士の対立など、プロジェクトマネジメントの障壁となるステークホルダー(利害関係者)の問題を、ロジカルに解決へと導くことが出来るセミナーです。

研修の目的

- ・IT顧客から受託したプロジェクトを成功させるために、リスクを意識したステークホルダーマネジメントを活用出来るようになる
- ・顧客との関係を強化できるポイントを習得する
- ・講師の豊富なプロジェクトマネジメントの経験から、ステークホルダーマネジメントに関する貴重なノウハウを短期間で身に付ける

こんな悩みを持つ方にオススメ!!

- ☹️ 組織の意見が対立し、プロジェクトがうまく進まない
- ☹️ ユーザの意見が二転三転するような環境で困っている
- ☹️ プロジェクトメンバーが受け身の為、意見が出ない

カリキュラム

(講義)

1. プロジェクトのリスク
2. ステークホルダーの特定と
ステークホルダーのニーズ把握
3. ステークホルダー・マネジメント

(演習例)

- ・ステークホルダーの特定とステークホルダーにまつわるリスク
- ・ステークホルダー・マネジメント戦略

対象者

- プロジェクトマネージャー、チームリーダー

日程(1日)	① 2018年 9月 28日(金) / ② 2018年 12月 21日(金)		
受講費用	45,000円(税別)	担当講師	庄司 敏浩
時間	9時30分 ~ 18時30分	取得PDU	8PDU(リーダシップ)
場所	アイテック会議室	定員	16名

SEのためのチームマネジメント実践

～ チームの活性化と環境の変化に対応できるチーム力 ～

研修の概要

チームをマネジメントする担当としての立場や役割を認識するために、本講座ではマネジメントの基本である次の三点を中心に学習を進めます。

1. 部門方針の具体化に必要な思考であるシステム思考
2. 仕事の管理（業務のPDCAを回すこと）
3. 人の管理（部下育成・動機付け）としてのピープルマネジメント

講義中心ではなく、事例演習やグループワークをとおして自分で考え、自分で結論を導き出す演習です。また、チームが担当する業務（プロジェクト）もマネジメントできるよう、PMBOKをベースにしたプロジェクトマネジメントの基礎的な事項も学習します。

研修の目的

- ・多くの演習に取り組み、単なる知識の修得ではなく、自分で考えた結果や他者から気づきを得る
- ・チームメンバの育成(OJT)や動機づけの具体的な手法や考え方を理解し実践することによる、メンバの育成と職場の活性化
- ・仕事の管理スキル（業務運営スキル）の向上による生産性向上

こんな悩みを持つ方にオススメ!!

-  チームメンバの育成(OJT)や動機づけの具体的な手法がわからない
-  チームメンバの育成と職場の活性化をしたい
-  業務運営に問題があり、仕事の生産性が高くない

カリキュラム

（講義）

1. はじめに
2. チームをマネジメントするとは
3. プロジェクトをマネジメントするとは
4. チーム運営のポイント
5. 部下育成とコミュニケーションのポイント
6. まとめ

（演習例）

- ・自己の指向性・価値観
- ・プロジェクトを成功させるために必要なこと
- ・効果的なブレインストーミングの方法
- ・管理の5機能
- ・ケース討議「組織と個人の問題の洗い出し」
- ・モチベーションの動機要因戦略

対象者

●新任の管理職の方

●チームリーダー

日程（1日）	① 2018年 8月 3日（金） / ② 2018年 12月 7日（金）		
受講費用	45,000円（税別）	担当講師	加藤 大介
時間	9時30分 ～ 18時30分	取得PDU	8PDU（テクニカル）
場所	アイテック会議室	定員	16名

事例で身に付ける プロジェクトマネジメント実践 ～ リアルな事例で現場が活かせる実践力をUP ～

研修の概要

実際に起こったITプロジェクトの大苦戦事例をもとにしたシナリオに対し、各工程をレビューして受講者の演習チームで問題解決していく、実践型の演習を中心とした研修です。
プロジェクトマネージャとして求められる観点と教訓を学ぶことができ、実際のITプロジェクトで活用できる問題解決力や、推進力を習得することができます。
約1年で150人近くのPMP合格者を輩出した講師の2日間セミナーです。

研修の目的

- ・プロジェクトマネージャとしての問題解決力と推進力を高める
- ・先を見越したリスク管理が出来るようになる
- ・プロジェクトマネジメント力を更に高め、困難なプロジェクトの成功率を上げる
- ・講義と豊富な演習を行うことで、現場で役立つプロジェクトマネジメント力を養う

こんな悩みを持つ方にオススメ!!

- ☹ プロジェクトマネジメントは学んだが、実務での進め方が分からない
- ☹ プロジェクトマネジメントを勧めようにもいつも問題が発生してうまくいかない
- ☹ 資格対策ではないプロジェクトマネジメントを学びたい

カリキュラム

（講義）

1. プロジェクトに重要な特長
2. プロジェクト計画時のケーススタディ
3. 基本設計終了時のケーススタディ
4. 連結テスト終了時のケーススタディ
5. ケースプロジェクトから学ぶ教訓

（演習例）

- ・プロジェクト計画
- ・基本設計完了時レビュー
- ・連結テスト終了時レビュー
- ・ケースから学ぶ8つの教訓
- ・学習内容の今後の活用検討

対象者

- プロジェクトマネージャー経験者
- 今後、社内を代表するプロジェクトマネージャーを目指す方

日程（2日）	お問合せください		
受講費用	90,000円（税別）	担当講師	近藤 美貴子
時間	9時30分 ～ 18時30分	取得PDU	16PDU（テクニカル）
場所	アイテック会議室	定員	16名

ITサービスマネジメント実践(移行/運用)

～ ITILを実践で活かす ～

研修の概要

中上級者向けであるITILインターミディエイト研修のカリキュラムを整理し、講師が厳選したポイントを絞り込んだ形式で講義を行います。

ワークショップでは、本来OSAには含まれない「変更管理」「リリースおよび展開管理」「サービス資産管理および構成管理」を実施。実務で使えるITIL知識を習得するので、ITIL資格を保有している方も、これから取得する方にもオススメのセミナーです。

研修の目的

- ・サービス運用業務の中核をなす運用サポートおよび分析を学ぶ
- ・サービス運用の品質および、効果・効率に大きな影響を与える「変更管理」「リリースおよび展開管理」「サービス資産および構成管理」の実践的な知識体系を理解し、実務に活用する
- ・運用に役立つサービスオペレーション、サービストランジションの主要プロセスの知識を習得する
- ・グループワークで、実務に活かせる実践力習得を目指す

こんな悩みを持つ方にオススメ!!

☹️ ITILファンデーションは取得したが、どう活かせばいいかわからない

☹️ ITILに則った対応を進めるように指示されたが、進め方がわからない

☹️ 資格対策ではなく、業務で使えるITILを学びたい

カリキュラム

(講義)

1. サービスマネジメントの原則
2. 変更管理
3. リリース管理および展開管理
4. サービス資産管理及び構成管理
5. イベント管理
6. インシデント管理
7. 問題管理

(演習例)

- ・価値あるサービスの定義
- ・PC新規設置申請処理（標準的な変更）
- ・申請を処理するためのワークフロー図
- ・重大なインシデント対応手順
- ・イベント管理、インシデント管理、問題管理

対象者

● ITILファンデーション資格をお持ちの方

● ITILの基本用語を理解している方

日程（2日）	① 2018年 9月 6日（木）～ 9月 7日（金） ② 2019年 2月 14日（木）～ 2月 15日（金）		
受講費用	90,000円（税別）	担当講師	木村 祐
時間	9時30分 ～ 18時30分	取得PDU	16PDU（テクニカル）
場所	アイテック会議室	定員	16名

SEのための人工知能活用

～ 深層学習とクラウド型AIを体験する ～

研修の概要

人工知能の活用例や機械学習をはじめとした人工知能技術を講義を通じて学びます。
特に重要な技術である深層学習については、実際に学習を実行することによってイメージをつかみます。
さらに、クラウドサービス型の人工知能については、ブロック型の簡易なプログラミング言語でプログラムを作成し、画像認識や翻訳などの簡易な人工知能システム構築を体験します。
人工知能の活用例や体験を通じて、人工知能活用に対して具体的なイメージを持つことができます。

研修の目的

- ・実際に人工知能を利用するプログラムを作成することで、人工知能を利用したシステム構築に対する具体的なイメージを持つことができる
- ・様々な人工知能の活用例を学ぶことで、顧客に人工知能活用を提案するイメージを持つことができる

こんな悩みを持つ方にオススメ!!

- ☹️ 人工知能に興味はあるが、詳細は知らない
- ☹️ 実際に人工知能を触ってみたい
- ☹️ 人工知能の業務への活用を検討している

カリキュラム

（講義）

1. 人工知能概要
2. 人工知能活用例
3. 人工知能の技術
4. クラウド人工知能体験

（演習例）

- ・ブラウザによる深層学習体験
- ・画像認識プログラム
- ・翻訳プログラム

対象者

- すべてのシステムエンジニア

日程（1日）	① 2018年 7月 20日（金） / ② 2019年 1月 18日（金）		
受講費用	45,000円（税別）	担当講師	小島 琢矢
時間	9時30分 ～ 18時30分	取得PDU	8PDU（テクニカル）
場所	アイテック会議室	定員	16名

IoTを活用した新規事業の創出

～ モノを繋げることで生まれる価値を考える ～

研修の概要

IoTはモノのインターネットと呼ばれます。IoTを活用すると、モノ同士がつながり全体で協調・連携することができます。ひとつひとつのモノに大きなデータや頭脳を持たせることには限界がありますが、モノにつながった先は無尽蔵のデータ格納場所であり膨大な処理能力を持った頭脳であるインターネットがあります。モノは、繋がることで、モノ単体ではなしえないことを実現できるのです。モノがリアルタイムにつながることで、これまでとは大きく異なるビジネス・モデルを実現してくれます。この研修ではIoTを活用したビジネスモデルについて演習を通じて考えていきます。

研修の目的

- IoTを用いたサービスを組み立てるときにどのようなことができるのか、どのような考え方で組み立てていけば良いのかを理解できるようになる
- IoTを取り巻く、技術的制約、法律的制約の最新情報を理解できるようになる

こんな悩みを持つ方にオススメ!!

- ☹ ビジネスにおいてIT関連ビジネスのアイデアを考えている
- ☹ IoTを用いたビジネスに興味がある
- ☹ 最新技術に興味がある

カリキュラム

（講義）

- IoTの基礎知識
- IoTの技術・関連法制度
- IoTを活用した新規事業の創出

（演習例）

- 自分の関わる事業について整理する
- 自分の関わる事業について発表する
- ビジネス課題を洗い出す
- 各々の課題の解決策を話し合う

対象者

- IoTを用いた新たなサービスを作成したいと思っている方

日程（1日）	① 2018年 9月 21日（金） / ② 2018年 11月 30日（金）		
受講費用	45,000円（税別）	担当講師	吉原 幸伸
時間	9時30分 ～ 18時30分	取得PDU	8PDU 3PDUテクニカル 5PDUストラテジック
場所	アイテック会議室	定員	16名

SEのためのロジカルライティング実践

～「正確に・わかりやすく・早く」伝えるための文書作成スキル向上のために～

研修の概要

文書作成に必要なことは、伝えるべきことを明確にすることと、それをわかりやすく構成することです。徹底した文書作成トレーニング方式により、自分のよい点・苦手な点・改善すべき点を明確にし、文書作成スキルの向上を図ります。

演習成果物は受講者同士での相互評価のほか、講師からできるだけフィードバックを行います。また解答例においては、なぜこのように書くべきか、納得のいく解説をします。

研修の目的

- 文書作成への苦手意識や抵抗を払拭でき、「自分にも文書作成ができる」という意識に変える
- 読み手が求めている事を常に意識できるようになり、早く簡潔にまとめられるようになる
- 読み手に確実に意図が伝わる文書を作成できるようになる
- 文書作成だけではなく口頭での説明を行う際にも役に立つスキルを身につける

こんな悩みを持つ方にオススメ!!

-  文書作成に苦手意識を持っている
-  読み手に意図が伝わる文書を、早く簡潔にまとめられるようになりたい
-  文書作成方法だけではなく、口頭の説明を行う際にも役に立つスキルを身につけたい

カリキュラム

（講義）

- はじめに
- 文書作成上の注意事項とロジカル思考
- 文書作成演習
- 文書構成を考えるポイント

（演習例）

- ロジックツリー
- 要旨要約
- メール
- 文書構成
- 社外への依頼文書
- 報告書作成①
- 報告書作成②
- 図表化

対象者

- 幅広い文書作成能力を身につけたい方
- 顧客向け文書を作成する方
- ビジネス文書を系統的に学びたい方

日程（1日）	① 2018年 9月 14日（金） / ② 2019年 2月 8日（金）		
受講費用	45,000円（税別）	担当講師	加藤 大介
時間	9時30分 ～ 18時30分	取得PDU	8PDU（テクニカル）
場所	アイテック会議室	定員	16名

失敗しないアウトソーシング管理

～ 丸投げ&ブラックボックスが招く問題からの脱却方法 ～

研修の概要

委託先への丸投げ・放置による情報漏えい、セキュリティインシデント・品質問題などのトラブルを防ぐための、アウトソーシングに必要なリスクマネジメントを学びます。
講義とワークショップで運用管理の8つのポイントを学び、煩雑になりがちな委託先とのやりとりや、指示の伝達漏れなどを防ぐためのマネジメント能力を習得。委託先の選定・契約・管理などの段取りから導入後のマネジメントまで、正しく実施でき、失敗を防止できる能力を身に付けることができます。

研修の目的

- ・アウトソーシング選定時の肝となるサービスレベルアグリメント（SLA）に盛り込むべき項目を学ぶ
- ・アウトソーシング先による情報漏えい、セキュリティインシデント、品質問題など委託元のブランド棄損につながる事故を防ぐための運用管理について、8つのポイントを学ぶ
- ・日々の運用コストや業務品質を、適切に管理するための観点と管理方法を学ぶ

こんな悩みを持つ方にオススメ!!

- ☹️ アウトソーシングの導入を検討しているが、選定や契約が不安
- ☹️ 委託先との情報伝達が煩雑で「言った」「言わない」などのトラブルで困っている
- ☹️ 委託先による情報漏えいや品質問題などに不安がある

カリキュラム

（講義）

1. アウトソーシングの現状
2. アウトソーシングの形態
3. アウトソーシングの失敗事例
4. アウトソーシング先の選定
シュミレーション
5. 失敗しないアウトソーシング管理
8つのポイント

（演習例）

- ・アウトソーシング先の選定
- ・アウトソーシング管理8つのポイント

対象者

- プロジェクトマネージャ、チームリーダー、プロジェクトチームメンバーの方
- プロジェクトに関わるすべてのビジネスマン

日程（1日）	お問合せください		
受講費用	45,000円（税別）	担当講師	沢渡 あまね
時間	9時30分 ～ 18時30分	取得PDU	8PDU（テクニカル）
場所	アイテック会議室	定員	16名

担当講師：池田 修一（いけだ しゅういち）

■プロフィール

- ・大手製造業にて数々のPMを経験し、その後PMO長/品質管理長/人材育成長に従事し、2015年に独立。
- ・システムエンジニア、プロジェクトマネジャーの経験を経て、プロジェクトマネジメントオフィス（PMO）で社内外の多くのプロジェクトに携わり、プロジェクトマネジメントおよびビジネスアナリシスの指導・教育を行ってきた。特に経験に基づく事例が多く、分かり易いとの声が多い。

■所属団体

- ・PMI日本支部会員
- ・プロジェクトマネジメント学会員
- ・IIBA会員

■保有資格

- ・Project Management Professional (PMI®)
- ・Certified Business Analysis Professional (IIBA®)
- ・ベンチマーキング・インストラクター（社会生産性本部）
- ・ラーニングファシリテーター（IT人材育成協会）

■著書

- ・プロジェクトマネジャー・リファレンスブック（日刊工業新聞） 共著
- ・戦略的PMO（オーム社） 共著
- ・伝説のPMが教える私のいち押しプロジェクト（評言社） 共著



担当講座

顧客の課題を解決するビジネスアナリシス実践
SEのための提案力強化実践

担当講師：山下 真吾（やました しんご）

■プロフィール

- ・独立系ソフトウェアベンダ等にてシステム開発、ネットワーク設計運用などの業務を10年程経験し、2001年に独立起業。
- ・現在は、講師業、執筆業、コンサルティング業に従事。
- ・自ら受験した対策ノウハウと実務で得た専門知識の深さを生かした分かりやすい解説に定評がある。

■保有資格

技術士(情報工学)、システムアーキテクト、データベーススペシャリスト、ネットワークスペシャリスト、情報セキュリティスペシャリスト、テクニカルエンジニア(システム管理)、他多数



担当講座 演習で身に付ける非機能要件定義実践

担当講師：近藤 美貴子（こんどう みきこ）

■プロフィール

- ・電機メーカー、大手証券系/大手商社系SI企業、教育企業などに勤務
- ・システム開発、構築、運用保守など現場経験、および部門長の経験あり。
- ・社内BAや、社内改善の初期立ち上げなどの担当部長として従事。IMS推進委員として全社のセキュリティと品質管理担当。
- ・講師経験20年以上 PMP、MCT ほか、多数資格保有。
- ・Microsoft Conference など、カンファレンス スピーカー経験。
- ・MSUテキスト、MCP対策本、その他技術書を多数監修。
- ・数々の社内社長賞、および Microsoft Certified Trainer Award 優秀賞受賞（2005年度）
- ・PMP 合格者150人近く輩出。（合格率85%以上）
- ・2015年度 IIBA日本支部 教育担当理事。



担当講座

顧客ニーズを引き出す要件定義(BA)実践
事例で身に付けるプロジェクトマネジメント実践

担当講師：庄司 敏浩（しょうじ としひろ）

■プロフィール

- ・システム開発に係る経験年数28年、研修講師経験年数14年のベテラン講師。
- ・外資系ITベンダで、SE・プロジェクトマネージャを務めた後、独立。
- ・ITコーディネータとして発注者側の支援を実務として行い、かつ、研修も実施していることから、実務面での具体的なアドバイスに定評がある。

■講師実績

- ・大手IT系、及び中小IT系企業、
- ・自治体(総務省主催の府省共通情報システム統一研修、
- ・旧業務システム最適化ガイドライン策定活動
- ・CIO補佐官養成講座、金融庁、年金機構)など多数



担当講座

失敗しない要件定義実践

失敗しないリスクマネジメント実践

失敗しないステークホルダーマネジメント実践

担当講師：加藤 大介（かとう だいすけ）

■プロフィール

- ・報道会社にて記者職、独立系システム企業、独立系SI企業を経て金融機関系シンクタンクにて開発プロジェクトに従事。
- ・Web系（Java）開発プロジェクトでPMを担当。
- ・自身が持つシステム設計・開発やクライアント折衝経験を基にした要件定義技法やプロジェクトマネジメント技法、チームマネジメント技法に多くの実績を持つ。単なる技術追求やプログラミング技術ではなく、自分の経験から得たことを生きた事例として教材としている。
- ・新聞記者であった経験から、広い視野やユニークな経験がバックグラウンドとしての強みである。とくに文書作成技法は、独自のノウハウと分かりやすさで多くのお客様から好評価をいただいている。



■保有資格

システム監査技術者、プロジェクトマネージャ、ISO9000審査員補、JSTQBテスト技術者、PMP

■研修実績

- ・SEのためのプロジェクトマネジメント
- ・SEのためのチームマネジメント
- ・要件定義技法
- ・文書作成技法
- ・情報試験対策（論文対策）、PMP試験対策 など

■著書

- ・高度専門 システム開発技術(アイテック)
- ・徹底解説 本試験問題 基本情報技術者(アイテック) 共著

担当講座

SEのためのチームマネジメント実践

SEのためのロジカルライティング実践

担当講師：木村祐（きむら たすく）

■プロフィール

- ・大手電機メーカーにて生産管理業務に従事。
- ・ベンチャー支援企業にてビル型ISP事業の立上げ。
- ・ベンチャー系システムマネジメント企業にてシステム監視、運用ビジネスの立上げ。
- ・外資系教育会社ITILのインストラクタとして、エキスパート・インターミディエイトなどの上位コース及び講師向けのトレーニングを担当。

■保有資格

ITIL V2 Manager、ITIL V3 Expert、PMP

■著書

ITIL教科書(アイテック)、高度専門ITサービスマネジメント(アイテック) 共著



担当講座

ITサービスマネジメント実践(移行/運用)

担当講師：小島 琢矢（こじま たくや）

■プロフィール

- ・通信会社研究所にて人工知能（機械学習）の研究に従事。
- ・通信会社でSE、経営企画に従事。
- ・独立後、人工知能、データ分析、IoT等の研修講師。
- ・具体例が豊富な講義で難しいことをわかりやすく説明することを得意としお客様からも評価いただいている。

■保有資格

ネットワークスペシャリスト、情報セキュリティスペシャリスト、中小企業診断士、PMP

■研修実績

- ・人工知能体験
- ・Excelによるデータ分析、Rを用いたデータ分析
- ・IoT体験 など



担当講座

SEのための人工知能活用

担当講師：吉原 幸伸（よしはら ゆきのぶ）

■プロフィール

- ・日本デジタルイクイップメント株式会社（日本DEC：現存続会社ヒューレット・パカードエンタープライズ社）の社内教育部門にて、社内の人材育成に従事する。その後スピンアウトして、Schick Technologies（ニューヨーク）にて各種デバイスやアプリの開発に従事する。帰国後はサンマイクロシステムズ社のDeveloperリレーション部門にてJava開発者向けの支援を行う。
- ・上記と並行して各種教育にも従事する。特に大手通信インフラ会社、大手Sler、大手Webメディアの人材育成には、新人・旧人向け問わず、長期間リピートを頂いている。
- ・各種メディア系のWebに強く、現時点でも大手Webメディア、大手出版社のWebとスマートデバイスを中心としたメディア展開のプロデューサー兼開発マネージャーとして従事している。

■研修実績

- ・大手Web企業新人研修（プロデューサー職・開発職向け）
- ・大手Web企業向けスマートデバイス開発研修
- ・大手Web企業向けWeb開発研修（Java/PHP）
- ・大手Web企業向けHTML/CSS研修
- ・大手コンピューターメーカー向け各種開発研修
- ・大手コンピューターメーカー、大手通信インフラ会社、大手Sler向けプロジェクト管理研修
- ・大手Sler向けアジャイル開発研修



担当講座

IoTを活用した新規事業の創出

担当講師：沢渡 あまね（さわたり あまね）

■プロフィール

- ・自動車／情報システム／大手製造業の、購買部門、海外マーケティング、情報システム、広報など多岐にわたるフィールドでグローバルビジネスに従事。
- ・大手企業様で、「交渉能力強化講座」、「キャリアマネジメント研修」、「『あなたは誰？』…をみんなで考えよう!」、「プレゼンテーション基礎講座」、「中小企業のためのワークシェアリング実践セミナー」、「草食系」社員のためのお手軽キャリアマネジメントセミナー」ほか、多数の講義を登壇。



■著書

- ・無理しないから無駄もない「草食系」社員のためのお手軽キャリアマネジメント（日刊工業新聞社）
- ・英語で働け！サラリーマン読本～英文契約・交渉・プレゼン・ナンでもコイ（日刊工業新聞社）
- ・「新人ガールITIL使ってチーム改善します!」（C&R研究所）
- ・「新人ガールITIL使って業務プロセス改善します!」（C&R研究所）

担当講座

失敗しないアウトソーシング管理

※順不同、敬称略

お申込み / お問い合わせ

WEBからのお申し込み

<https://www.itec.co.jp/store/>

または、下記「お問合せ」内、法人営業部までお申し付けくださいませ



法人向けお申し込みサイトについて

<https://www.itec.co.jp/inquiry>

- ・アイテックのご提供商品が簡単、迅速にご購入いただけます
- ・見積書の出力や見積書からのご購入が可能です
- ・過去の購入履歴がご参照いただけます
- ・一度請求、納入先などをご登録いただけますと、繰り返しご利用いただけます
- ・受講者情報を一括登録できるCSVアップロード機能が搭載されております
- ・お申込毎に必要な、社印の押印が不要です
- ・弊社導入法人様限定のECサイトです（予めご登録が必要です）
- ・3,000円以上（税込）ご購入の場合、送料無料
- ・ご利用をご検討されるお客様はお問合せください



お問合せ

<https://www.itec.co.jp/contact/>

または

TEL:03-6824-9001

（担当：サービスデスク 月～金（祝祭日除く）：10：00～17：00）



【法人営業部 直通】

TEL:03-6824-9007

メール: hojin@itec.co.jp

会社概要

■商号	株式会社アイテック			
■沿革	旧株式会社クリエイティブソリューションズ		旧株式会社アイテック	
	1995年 1月	フォーバルグループのHR事業を担うべく創業	1983年 5月	「株式会社情報処理技術者教育センター」を設立
	1998年 2月	業務拡大のため、オフィスを渋谷に移転	1991年 1月	「株式会社アイテック」へ商号変更
	2000年 11月	アジア人材紹介事業を開始	2013年 10月	「株式会社フォーバル（JASDAQ上場、証券コード「8275」）」の連結子会社となる
	2018年 4月	株式会社クリエイティブソリューションズと株式会社アイテックが合併し、株式会社アイテックとなる		

■資本金 80,000,000円

■取締役	代表取締役社長	加納 敏行
	取締役副社長 教育事業本部長	土元 克則
	取締役 人材事業本部長	澤田 朗
	取締役 管理本部長	久保田 善之
	取締役(非常勤)	加藤 康二
	取締役(非常勤)	行 辰哉

■事業概要 通信教育事業、書籍の出版・販売事業、企業向け社員研修事業
ITエンジニアの派遣事業
東南アジアにおける現地幹部候補・留学生の人材紹介

■所在地	・本社	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-17-5 シオノギ渋谷ビル11階
	人材事業本部	TEL：03-6825-5301 FAX：03-3797-3704
	・教育事業本部	〒108-0074 東京都港区高輪2-18-10 高輪泉岳寺駅前ビル4階
		TEL：03-6824-9010 FAX：03-5795-0231
	・教育事業本部	〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル15階
	西日本支社	TEL：06-6535-7420 FAX：06-6535-7421

■主要取引先

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">アマゾンジャパン合同会社アイコムシステック株式会社ＩＩＢＡ日本支部インフォメーションサービスフォース株式会社伊藤忠テクノソリューションズ株式会社NECマネジメントパートナー株式会社SCSK株式会社NTTラーニングシステムズ株式会社MS&ADシステムズ株式会社NECネットエスアイ株式会社株式会社NHKメディアテクノロジー株式会社NTTデータユニバーシティ株式会社NTTデータ アイNECソリューションイノベータ株式会社株式会社NTTドコモ株式会社大阪屋栗田株式会社OKIソフトウェア関西電力株式会社一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会株式会社クレスコKDDI株式会社国税庁NTTコムウェア株式会社株式会社さくらケーシーエス株式会社JR東日本情報システムJRAシステムサービス株式会社Sky株式会社住友林業情報システム株式会社ソフトバンク株式会社株式会社大和総研TIS株式会社TISソリューションリンク株式会社 | <ul style="list-style-type: none">株式会社トーハン東芝テックソリューションサービス株式会社株式会社東邦システムサイエンス東京海上日動システムズ株式会社東芝インフォメーションシステムズ株式会社日本出版販売株式会社株式会社西村書店株式会社日本ウィルテックソリューション日本政策金融公庫日本アイ・ビー・エム株式会社株式会社日本総合研究所株式会社日本マンパワーニッセイ情報テクノロジー株式会社日本電気通信システム株式会社株式会社日立インフォメーションアカデミー株式会社日立ハイシステム21株式会社日立産業制御ソリューションズ東日本電信電話株式会社株式会社富士通ラーニングメディア株式会社フォーバル株式会社富士ゼロックス総合教育研究所防衛省 航空幕僚監部みずほ情報総研株式会社三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社三菱電機コントロールソフトウェア株式会社一般社団法人宮城県情報サービス産業協会株式会社村田製作所株式会社ラック株式会社リクルートテクノロジーズリコーITソリューションズ株式会社ワールドビジネスセンター株式会社 |
|---|--|

等（50音順・敬称略）

アイテック公式SNS



https://twitter.com/ITEC_shikaku

どこよりも早くアイテックの新商品や
情報処理の最新情報をお届けします。



<https://www.facebook.com/ITEC.Community>

一人一人のキャリアビジョンを実現させる
ために一緒に考え、悩み、共に成長してい
ける、そんなコミュニティを目指します。



<http://www.itec.co.jp/blog/>

受験生の合格体験記など学びに
役立つノウハウ満載



